

平成4年度実地調査「第10回出生動向基本調査」の施行

昭和15年に第1回調査が行われた出産力調査は、本年、その10回目の調査を行う年にあたる。本調査は出生に関するより総合的な動向を把握するために今回から出生動向基本調査と名称を改め、厚生省大臣官房統計情報部、各都道府県・政令指定都市の協力を得て、平成4年度実地調査として7月16日に第10回調査を実施、9月上旬に調査票の回収を終了した。調査実施の要綱は以下の通り。

1 調査の目的

本調査の目的は、最近変化しつつあるといわれる夫婦の子どもの生み方に関する実態を明らかにするとともに、急速な晩婚化の進行にかんがみ、独身者の結婚・出産に関する考え方を把握することにある。その結果は出生率低下の原因解明に資するとともに、より精緻な将来人口推計と厚生行政に関する施策立案の基礎資料として活用されることが期待される。

2 調査の方法および対象

本調査は厚生省大臣官房統計情報部が実施する平成4年度国民生活基礎調査の調査区から無作為に抽出された480地区において、その地区内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦（夫婦票）と18歳以上50歳未満の独身者（独身者票）を対象とする。

3 調査の期日

平成4年7月16日

4 調査の事項

(1) 「夫婦票」

- 1) 夫婦（およびその両親）の人口学的・社会経済的屬性
- 2) 夫婦の結婚に関する事項
- 3) 夫婦の妊娠・出産歴
- 4) 妻の結婚・出産・家族に関する価値観
- 5) 保育環境

(2) 「独身者票」

- 1) 本人（およびその両親）の人口学的・社会経済的屬性
- 2) 結婚に関する意識
- 3) 子ども・家族に関する価値観

(阿藤 誠記)

第54回人口問題審議会総会

第54回人口問題審議会総会は、平成4年7月23日（木）午前10時より12時まで、中央合同庁舎特別第1会議室において開催され、以下のような報告があり、その報告をめぐって質疑応答が行われた。

1. 将来人口推計の基本的考え方について（阿藤専門委員）
2. 国際人口移動に関する調査研究（河野委員）
3. 平成3年人口動態統計（概数）の概況（人口動態統計課長）
4. 平成3年人口動態社会経済面調査（婚姻）の概況（人口動態統計課長）
5. 第17回生命表（完全生命表）（管理企画課長）
6. 平成3年簡易生命表（管理企画課長）
7. 「健やかに子供を生み育てる環境づくり」に関する施策の推進状況と今後の方向（児童環境づくり対策室長）
8. 世界人口白書について（政策課長）
9. アジア太平洋人口会議について（政策課長）

(金子武治記)